

医療の道への一步踏み出す



南あわじ・看護専門学校で入学式

平成淡路看護専門学校（南あわじ市広田広田）の入学式が6日あった。9期生40人が、新たに始まる学

生生活に期待を膨らませながら、医療の道へ一步を踏み出した。

新型コロナウイルスの影響を受けて出席者を絞った昨年と違い、今年は保護者

を入れて開催。一方で、3年生が病院での実習を控えていることから、全員がマスク着用で式典に臨んだ。

同校の北河宏之校長は、看護や介護を担う若い力が減っている現状に触れ「その中で効率よく良いものを届けるためには、スキルと知識、相手の立場に立つて考えるコミュニケーション力が大切だ」と述べた。

新入生代表として宣誓文

宣誓文を読む新入生代表の江本樹音さん（南あわじ市広田広田）

を読んだ江本樹音さん（18）は「中学生の時から目標だった。思いやりを持つて的確に行動できる看護師を目指したい。自信を持って看護ができるよう勉強に励む」と力を込めた。

（荻野俊太郎）